

平成 24 年度 桑名市地域医療対策連絡協議会

日時 平成 25 年 3 月 25 日
13 : 30 ~ 15 : 00 (予定)
場所 桑名市役所 3 階第 2 会議室

1 開会

2 報告

(1) 平成 24 年度 主な事業報告

- ① 桑名市総合医療センター新病院の整備状況について
- ② 桑名地域医療再生学講座（寄附講座）について
- ③ 小児科医師を目指す研修資金貸与額の拡充について
- ④ 健康・医療相談ダイヤル 24 について
- ⑤ 子どもの救急対応ハンドブックについて
- ⑥ 桑名市在宅医療及びケア研究会開催状況

(2) 平成 25 年度 主な事業概要

3 閉会

○桑名地域医療再生学講座(寄附講座)について

<設置講座> 桑名地域医療再生学講座

<寄附講座設置場所> 鈴鹿医療科学大学(鈴鹿市岸岡町1001番地1)

<協定者> ○桑名市長
○学校法人鈴鹿医療科学大学理事長
○地方独立行政法人桑名市総合医療センター理事長

<桑名地域医療再生講座(寄附講座)の概要>



- 1) 目的 大学に周産期医療の講座を設置し、桑名地域の住民に健康で安心できる生活を提供する医療保健体制に関する研究・教育を行い、最適な地域医療体制の確立に寄与することを目的とする。
- 2) 寄附 一年度につき394万円を限度(桑名市)、1,361万円を限度(桑名市総合医療センター)
※24年度は契約後月数按分相当額
- 3) 期間 平成24年7月9日から平成27年3月31日まで
- 4) 研究・教育の内容
 - ①北勢地域における周産期医療の再生に関する研究
 - ②地域の中核となる病院における周産期医療の診療機能に関する研究
 - ③周産期医療に従事する医師の育成に関する研究・教育
 - ④周産期子一ム医療に関する研究、教育

東医療 週3日

実務は? ⇒ 3月半ばに提出を希望している。

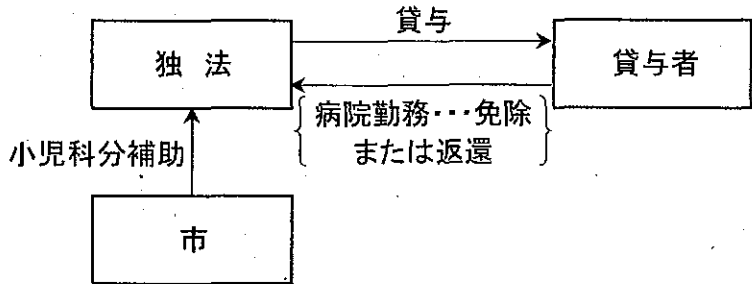
「桑名市の小児医療提供体制の再構築に関する提言書」のうち、「医学生や研修医を対象とした修学資金貸付制度など、小児科医師の確保に向けた取り組みを行うこと」を受けた施策

～ 地方独立行政法人桑名市総合医療センターとのタイアップ ～

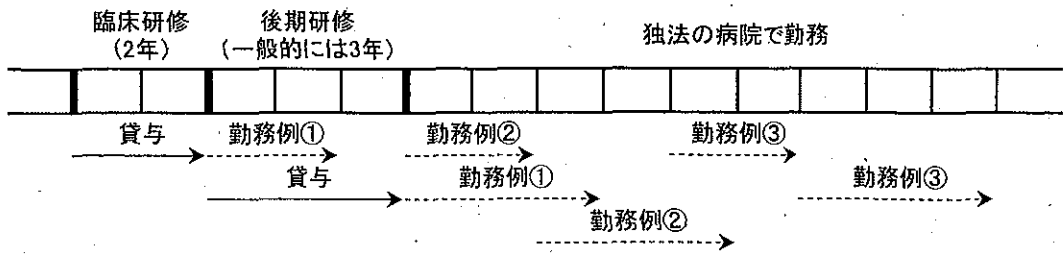
現行の独法の制度 後期研修資金貸与制度を拡充	あわせて独法で 臨床研修資金貸与制度を創設
<p>後期研修を行っていて、将来独法の病院で勤務しようとする医師に対し、研修資金を貸与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸与額は月額22万円(最大5年間) ・独法の病院で研修しているかどうかは問わない。 ・貸与した期間分だけ将来独法の病院で勤務すると、返還を免除。 ・免除に必要な勤務期間は、両制度間で重複しない。 	<p>臨床研修(初期)に対する同様の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸与額は月額13万円(最大2年間)
	
<p>小児科における後期研修を行っていて、将来独法の病院の小児科で勤務しようとする医師に対する貸与額を、<u>月額33万円</u>とする。</p>	<p>将来独法の病院の小児科で勤務しようとする医師に対する貸与額を、<u>月額24万円</u>とする。</p>

一般の貸与月額との差額11万円を市が負担する。
平成25年1月1日から平成30年3月31日までの時限措置

【フロー図】



【貸与—免除イメージ】



1. 相談件数

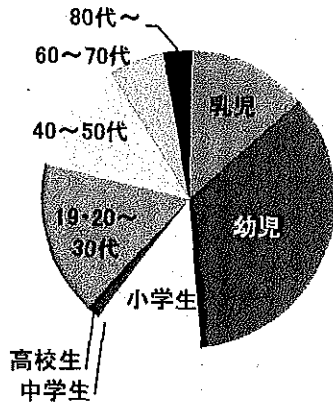
件数	1日あたり
3,720	11.1

松阪市を例として
 新幹線利用が約40%です。

※子供に関係がせりもの15%。

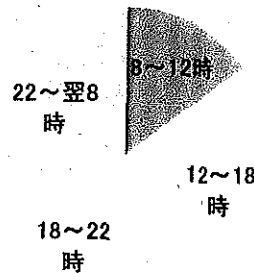
※1件健康 赤十字訪問96%を起している。ヒントブック配付
 報告

2. 相談対象者年齢別集計



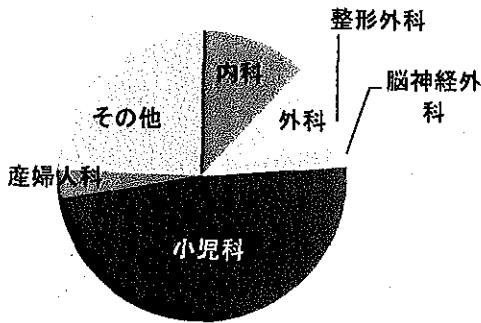
区分	件数	%
乳児	492	13.2
幼児	1,311	35.2
小学生	377	10.1
中学生	63	1.7
高校生	56	1.5
19・20~30代	627	16.9
40~50代	458	12.3
60~70代	222	6.0
80代~	114	3.1

3. 受付時間別集計



時間帯	件数	%
8~12時	552	14.8
12~18時	1,009	27.1
18~22時	1,108	29.8
22~翌8時	1,051	28.3

4. 診療科別分類集計



診療科	件数	%
内科	439	11.8
外科	175	4.7
整形外科	161	4.3
脳神経外科	112	3.0
小児科	1,803	48.5
産婦人科	119	3.2
その他	911	24.5

⇒ 感染症 812件
 消化器 343件
 転倒・誤飲等 206件
 ...

※その他は、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、歯科、心療内科、精神科、その他

5. 内容別分類集計【上位】

相談内容	件数	%
気になる身体の症状に関する相談	1,383	37.2
治療に関する相談(現在治療中の方)	648	17.4
育児に関する相談	581	15.6
夜間・休日の医療機関案内	574	15.4
家庭看護に関する相談	193	5.2

桑名市在宅医療及びケア研究会 開催状況

○ 第1回

日時：平成23年10月18日（火）19:30～21:00

場所：くわなメディアライブ

内容：・講演「これからの在宅医療と課題」三浦明（桑名市副市長）
 ・意見交換会「顔の見える関係づくり、日ごろの思いを語ろう！！」
 （講演について、研究会に望むことについて9グループで意見交換）

参加者数：

医師	歯科 医師	薬剤師	(訪問) 看護師	地域 包括	ケアマネ ジャー	介護職	その他	合計
12	6	26	12	12	37	11	20	136

○ 第2回

日時：平成24年2月2日（木）19:00～21:00

場所：くわなメディアライブ

内容：テーマ「お互いの業務を知ろう！！」
 ・アピールタイム（業務についての説明）
 （医師、訪問看護師、メディカルソーシャルワーカー、ケアマネジャー、訪問介護、デイサービス）
 ・事例検討「入院患者様の退院が決まりました！さあみんなでマネジメントしよう！」（モデルケースをもとに、9グループで事例検討）

参加者数：

医師	歯科 医師	薬剤師	(訪問) 看護師	地域 包括	ケアマネ ジャー	介護職	その他	合計
7	1	14	7	9	23	15	5	81

○ 第3回

日時：平成24年4月19日（木）19:00～21:00

場所：くわなメディアライブ

内容：テーマ「お互いの業務を知ろう！！」
 ・アピールタイム（業務についての説明）
 （歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、地域包括、訪問リハビリ）
 ・事例検討「みんなで支える介護サービス ～Win-Win～になろう！」
 （モデルケースをもとに、12グループで事例検討）

参加者数：

医師	歯科 医師	薬剤師	(訪問) 看護師	地域 包括	ケアマネ ジャー	介護職	その他	合計
9	13	14	11	12	20	8	22	109

○ 第4回

日時：平成24年8月2日（木）19:00～21:00

場所：くわなメディアライブ

内容：テーマ「お互いの思いを知って、今後の連携にいかそう！」

- ・役割演技（ロールプレイング）による事例紹介
（配役：医師、看護師、ケアマネジャー、介護職、患者、家族）
- ・事例検討（モデルケースをもとに、9グループで事例検討）

参加者数：

医師	歯科 医師	薬剤師	(訪問) 看護師	地域 包括	ケアマネ ジャー	介護職	その他	合計
9	3	9	6	12	15	13	8	75

○ 第5回

日時：平成24年11月29日（木）19:00～21:00

場所：くわなメディアライブ

内容：テーマ「実践事例、ここまでできた！医療、福祉、介護の連携」

- ・臨床講義：リウマチについて 菅井博哉先生（すがいクリニック院長）
- ・ケース伝達：山田いく子看護師（訪問看護ステーションえがお）
- ・質疑・意見交換

参加者数：

医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	地域包 括	ケアマネ ジャー	介護職	P.T	その他	合計
10	5	9	8	17	19	10	4	3	85

○ 第6回

日時：平成25年3月13日（水）19:30～21:00

場所：くわなメディアライブ

内容：テーマ「こんなに大切なんだ！在宅での歯科診療と口腔ケア」

- ・「在宅での歯科診療について」 講義：伊藤龍也先生（セントラル歯科院長）
- ・「在宅での口腔ケアの実際」 講義と実技：金海京子先生（歯科衛生士）
“みんなで一緒に歯磨き体験”
- ・質疑・意見交換

参加者数：

医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	地域 包括	ケアマネ ジャー	介護職	P.T	歯科衛 生士	その他	合計
6	12	8	10	17	20	12	5	11	4	105

※この地域では救急医療、在宅医療は重要である。

平成25年度
当初予算参考資料

平成25年3月

桑名市

平成25年度 事業概要書【一般会計】

所属： 地域医療対策課・健康づくり課

事業 名称	細々目 04 救急医療対策事業費	予 算 区 分	款 04 衛生費
			項 01 保健衛生費
			目 01 保健衛生総務費
			細目 002 救急医療対策事業費

事業目的

一次及び二次救急医療の安定供給のため、関係機関との連携のもと、市民が安心して暮らせるよう、救急医療体制を維持する。

主な事業内容

- ・一次救急医療体制運営委託 3,560千円
- ・救急医療事務業務委託 2,340千円
- ・年末年始歯科診療業務委託 473千円
- ・健康・医療相談ダイヤル委託 11,289千円
- ・救急医療情報システム運営費負担 1,015千円
- ・病院郡輪番制運営費補助 24,793千円
- ・AED(自動体外式除細動器)設置管理等 5,754千円

事業進捗状況(予定)等

※計画額は、今後変更することがあります。

〈健康・医療相談ダイヤル委託相談実績〉※平成23年9月開始

- ・平成23年度(9月～3月) :1,911件
- ・平成24年度(4月～11月):2,688件

〈AED設置管理等〉

当市の施設には概ねAEDの配置を終え、多くの民間施設でも配置されている。
新規建築施設については、運営コストにAED導入コストを盛り込み、所管課で予算立てしている。

当初予算額 (単位:千円)

		25年度	24年度	増減額
事業費	計	49,294	47,756	1,538
	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	440	490	▲ 50
	一般財源	48,854	47,266	1,588

平成25年度 事業概要書【一般会計】

所属： 地域医療対策課・健康づくり課

事業 名称	細々目 01 各種団体補助金	予 算 区 分	款 04 衛生費
			項 01 保健衛生費
			目 01 保健衛生総務費
			細目 003 各種団体補助金

事業目的

桑名市の小児医療提供体制の再構築に関する提言を受け、小児科医師の確保に向けた取り組みとして、地方独立行政法人桑名市総合医療センターが実施している研修資金貸与事業のうち、小児科における臨床研修または後期研修を希望する医師に対し、貸与額を増加して、小児科医師の確保を図る。また、桑名地区医療機関での看護師の確保を目的として、看護専門学校運営費を補助する。その他、住民の健康に対する意識高揚を図るため、健康推進員による地域の健康づくり活動に交付金を交付する。

主な事業内容

桑名市総合医療センターにおいて規程している後期研修資金貸与制度(月額22万円)及び臨床研修資金貸与制度(月額13万円)に関し、小児科を指そうとする医師に対して貸与額を11万円上乗せするもので、その上乗せ分を市が医療センターに補助するもの。
平成25年度:110千円×12ヶ月×1名=1,320千円

事業進捗状況(予定)等 ※計画額は、今後変更することがあります。

桑名市研修医研修資金貸与事業費補助金交付要綱制定(平成24年7月)

◆他市町の類似する施策等
独法の貸与事業、かつ、小児科限定での補助は県内初

当初予算額 (単位:千円)

		25年度	24年度	増減額
事業費	計	3,870	2,550	1,320
	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	3,870	2,550	1,320

平成25年度 事業概要書【一般会計】

所属： 地域医療対策課

事業 名称	細々目 02 寄附講座支援事業費	予 算 区 分	款 04 衛生費
			項 01 保健衛生費
			目 01 保健衛生総務費
			細目 004 地域医療対策事業費

事業目的

大学に桑名地域の医療を再生するための講座を設置し、桑名市及びその周辺地域の住民に健康で安心できる生活を提供する医療保健体制に関する研究・教育を行い、もって最適な地域医療体制の確立に寄与することを目的とする。寄附講座の設置により、産科医師が確保され、市内で市民が安心して出産できるように地域医療提供体制の確立を図る。

主な事業内容

設置期間は3年間(平成24年7月9日～平成27年3月31日)とし研究・教育の取り組み内容は、周産期医療である。

(債務負担行為設定)

- ・平成24年度:2,871千円
- ・平成25年度:3,940千円
- ・平成26年度:3,940千円

事業進捗状況(予定)等

※計画額は、今後変更することがあります。

大学からの医師派遣による研究、診療体制(平成24年度)

- ・月曜日、水曜日、金曜日は、桑名東医療センターで研究、診療
- ・火曜日、木曜日は、大学で研究、教育

◆他市町の類似する施策等

平成23年6月から亀山市、平成24年9月から津市で実施

当初予算額 (単位:千円)

		25年度	24年度	増減額
事業費	計	3,940		3,940
	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	3,940		3,940

平成25年度 事業概要書【一般会計】

所属：健康づくり課

事業 名称	細々目 01 予防接種事業費	予 算 区 分	款 04	衛生費
			項 01	保健衛生費
			目 02	予防費
			細目 001	予防接種事業費

事業目的

予防接種法による定期予防接種は、市町村が行うこととなっており、感染症対策上重要な役割を果たしている。免疫水準を維持するために、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、一定の接種率を維持し、感染症の流行を未然に防止し、地域住民の健康の増進に寄与する。

主な事業内容

○桑名医師会と委託契約をし、指定医療機関において実施
 予防接種法による予防接種 172,022千円
 ・一類疾病(BCG、ポリオ・百日咳・ジフテリア・破傷風、麻しん・風しん、日本脳炎)
 ・二類疾病(高齢者インフルエンザ)
 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業(国)における予防接種(平成24年度まで) 131,508千円
 ・子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン
 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費用助成事業要綱による、65歳以上の高齢者への接種費用 1,893千円

事業進捗状況(予定)等 ※計画額は、今後変更することがあります。

○平成25年度予定(単位:延人数)
 ・BCG1,200人、ポリオ1,400人、2種混合1,100人、3種混合400人、4種混合4,050人、
 麻しん・風しん混合ワクチン2,178人、日本脳炎4,281人、
 ・高齢者インフルエンザ17,200人
 ・子宮頸がんワクチン1,687人、ヒブワクチン5,200人、小児用肺炎球菌ワクチン5,200人
 ・65歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種費用助成631人
 ※子宮頸がん等ワクチン臨時特例交付金は平成25年度から一般財源化

当初予算額 (単位:千円)

		25年度	24年度	増減額
事業費	計	340,831	362,303	▲ 21,472
	国支出金			0
	県支出金		55,281	▲ 55,281
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	340,831	307,022	33,809

予防接種の種類	予防する病気	接種回数	定められている期間
BCG	結核	1回	6か月未満
DPT-IPV	百日咳 破傷風 ジフテリア 小児麻痺	1期初回:3回 1期追加:1回	3~90か月未満
不活化ポリオ ※DPT-IPV接種者は不要	小児麻痺	1期初回:3回 1期追加:1回	3~90か月未満
DPT ※DPT-IPV接種者は不要	百日咳 破傷風 ジフテリア	1期初回:3回 1期追加:1回	3~90か月未満
DT	破傷風 ジフテリア	2期:1回	11歳~13歳未満
MR	麻しん	1期:1回 2期:1回	1期:12~24か月未満
	風しん		2期:小学校入学前年度の幼児
日本脳炎	日本脳炎	1期初回:2回 1期追加:1回 2期:1回	1期:6~90か月未満 2期:9歳~13歳未満
小児肺炎球菌	肺炎球菌による感染症	2~7か月未満で開始した場合:4回 7~12か月未満で開始した場合:3回 12か月以上で開始した場合:2回 24か月以上で開始した場合:1回	2か月~5歳未満
ヒブ	インフルエンザb菌による感染症	2~7か月未満で開始した場合:4回 7~12か月未満で開始した場合:3回 12か月以上で開始した場合:1回	
子宮頸がん	子宮頸がん	3回	中学1年~高校1年に相当する年齢

平成25年度 事業概要書【一般会計】

所属：健康づくり課

事業 名称	細々目 01 各種検診事業費	予 算 区 分	款 04 衛生費
			項 01 保健衛生費
			目 06 保健センター費
			細目 003 健康増進事業費

事業目的

- ①健康増進法に基づく、健康増進法健診、各種がん検診、がん検診推進事業、骨粗しょう症検診、歯周病検診
- ②感染症法に基づく、結核検診
- ③人間ドック
- ①②③を実施することで、がんや生活習慣病の予防や早期発見・早期治療につなげ、市民自ら健康づくりに主体的に取り組めるよう支援する。

主な事業内容

- 各種検診の実施
 - ・健康増進法健診 448千円
 - ・がん検診…胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、大腸がん
集団検診 26,394千円 個別検診 45,146千円
 - ・がん検診推進事業…乳がんマンモグラフィ、子宮頸部がん、大腸がん 28,911千円
 - ・骨粗しょう症検診 1,200千円
 - ・歯周病検診 217千円① 歯の健康 (乳歯検診も希望あり) 歯の健康
 - ・感染症法による結核検診 4,784千円
 - ・人間ドック 2,410千円

事業進捗状況(予定)等

※計画額は、今後変更することがあります。

- 平成25年度予定
 - ・健康増進法健診95人
 - ・がん検診
集団がん検診…胃がん検診1,500人、子宮がん検診1,200人、乳がんマンモグラフィ検診1,450人、乳がん超音波検診700人、肺がん検診1,699人、大腸がん検診650人
個別がん検診…子宮頸部・体部がん検診1,520人、子宮頸部がん検診2,900人、大腸がん検診4,500人
 - ・がん検診推進事業…乳がんマンモグラフィ検診1,465人、子宮頸部がん検診1,295人、大腸がん検診1,477人
 - ・骨粗しょう症検診…800人 ・歯周病検診…100人 ・結核検診…3,505人 ・人間ドック…100人

当初予算額 (単位:千円)

		25年度	24年度	増減額
事業費	計	125,921	122,462	3,459
	国支出金	16,594	13,222	3,372
	県支出金	439	483	▲ 44
	地方債			0
	その他		4,297	▲ 4,297
	一般財源	108,888	104,460	4,428

平成24年度各種検診

種類	対象	受け方	検査内容	検診料	実施時期	検診場所	
胃がん	30歳以上の方	集団検診	問診・胃部 エックス線検査 (バリウム)	800円	6月～11月	市内各施設	
結核	65歳以上の方	集団検診	胸部エックス線検査	無料	9月上旬～	市内各施設	
肺がん	65歳以上の方 ※結核検診と同時に実施します。	集団検診	問診・胸部エックス線検査 ※必要時、喀痰検査	300円 喀痰検査料 別途500円	10月上旬	市内各施設	
肺がん	40歳～64歳の方	集団検診	問診・胸部エックス線検査 ※必要時、喀痰検査	300円 喀痰検査料 別途500円	7月～10月	市内各施設	
骨粗しょう症	30歳以上の方	集団検診	問診・超音波検査	500円	7月～8月	市内各施設	
大腸がん	40・45・50・55・60歳	無料クーポン券 ※対象者に 無料クーポン 券送付	問診・ 便潜血反応検査 ※2日間、便を採取	無料	7月～1月	指定医療機関	
	無料クーポン券対象 の方以外で 40歳以上の方	個別検診		1000円	7月～11月	市内指定 医療機関	
		集団検診		500円	6月～ 9月	市内2施設	
子宮がん	20・25・30・35・40歳	無料クーポン券	問診・診察・ 子宮頸部の細胞診	無料	7月～1月	指定医療機関	
	無料クーポン券対象 の方以外で 20歳以上の方 (平成6年3月31日以前 生まれ)	個別検診	問診・診察・ 子宮頸部(体部)の細胞 診	1500円 体部がん検診 も必要と判断 された方は 2500円になり ます。	7月～11月	市内指定 医療機関	
		集団検診	問診・診察・ 子宮頸部の細胞診	800円	7月～11月	市内各施設	
乳がん	40・45・50・55・60歳	無料クーポン券	問診・視触診 マンモグラフィ検査	無料	7月～1月	指定医療機関	
	無料クーポン券対象 の方以外で 40歳以上の方	集団 検診	マンモ グラフィ	問診・自己触診指導 視触診 マンモグラフィ検査	500円	6月～11月	市内各施設
	無料クーポン券対象 の方以外で 20歳以上の方		超音 波	問診・自己触診指導 視触診 超音波検査	1300円	7月～11月	市内各施設
歯周病	40・45・50・55・60歳	個別検診	問診・診察	300円	1～2月	指定医療機関	
人間ドック	40・45・50・55・60歳	個別検診	診察・身体計測・血液検査・ 腹部超音波検査・上部消化管検査・胸部X線 検査、便検査・眼底検査 等	10,000円	7月～11月	指定医療機関	

平成25年度 事業概要書【一般会計】

所属： 保険年金課

事業 名称	細々目 03 子ども医療費	予算 区分	款 03 民生費
			項 01 社会福祉費
			目 01 社会福祉総務費
			細目 007 福祉医療費助成費

事業目的

子どもを養育する保護者の経済的支援及び児童の健全育成を図るため、医療費の一部を助成する。

主な事業内容

- ・平成23年10月～：入院の助成を中学校卒業まで拡大
- ・平成24年9月～：通院分を小学校卒業まで拡大
- ・平成25年度見込件数：217,491件

事業進捗状況(予定)等

※計画額は、今後変更することがあります。

<登録者数>
14,547人

- ◆他市町の類似する施策等(平成24年9月1日現在)
- ・四日市市：入通院ともに12歳年度末まで助成
- ・いなべ市：入院は15歳年度末まで、通院は12歳年度末まで助成

当初予算額 (単位:千円)

		25年度	24年度	増減額
事業費	計	379,177	335,501	43,676
	国支出金			0
	県支出金	180,836	144,819	36,017
	地方債			0
	その他	9		9
	一般財源	198,332	190,682	7,650

子ども医療費助成事業実績

I 登録者数

年度	登録者数	対象者	
		通院	入院
19	4,531人	4歳未満	就学前まで
20	7,642人	★9月1日～就学前まで	就学前まで
21	7,689人	就学前まで	就学前まで
22	7,811人	就学前まで	就学前まで
23	7,113人	就学前まで	★10月1日～中学卒業まで
24	14,547人	★9月1日～小学卒業まで	中学卒業まで

※平成24年度登録者数は、11月末現在。

★対象者拡大

II 助成件数及び支給額

年度		助成件数	支給額	備考
19		72,311件	126,114,348円	
20		94,840件	144,104,506円	拡大
21		111,927件	168,469,010円	
22		121,971件	180,845,672円	
23	乳幼児	125,771件	184,228,898円	
	子ども入院 (市単分)	42件	2,438,192円	拡大
24	子ども	93,132件	139,369,992円	
	子ども入院 (市単分)	97件	3,545,167円	拡大

※平成24年度については、12月支払分までの実績。